

第 11 回米原市定例教育委員会

日 時：平成 28 年 11 月 16 日

午後 3 時 30 分開会

場 所：山東庁舎 2AB 会議室

(出席者)

教 育 委 員：稲村委員長 河居委員長職務代理者 本庄委員 近藤委員
山本教育長

教 育 部 長：田中部長

教 育 総 務 課：仲谷課長 藤岡補佐

学 校 教 育 課：藤木課長

生 涯 学 習 課：丸本次長

歴史文化財保護課：高橋主査

学 校 給 食 課：大澤課長

図 書 館：今川副館長

書 記：澤

1 開 会

2 委員長あいさつ

みなさんこんにちは。第 11 回の定例教育委員会にお集まりいただき、ありがとうございます。いよいよ紅葉も進み、先週から学校訪問も始まりました。普段の生活の中では、土日の行事等もあり紅葉を楽しむ余裕がないのではないかと思います。昔から言われている「忙中閑有」という言葉があります。たまには時間を見つけて、家族と一緒に遠くまででなくても身近な所でも素晴らしい所はあると思いますので、お出かけになって秋の深まりを感じる余裕を持っていただけると良いのではないかと思います。

例年開催されている「こども美術展」が今年も B & G 海洋センターであったようで、例年どおりたくさんの方が自分の子どもやお孫さんの作品を見に来られ、改めて自分の子の頑張りを共に喜んでおられるのではないかと思います。

先週から学校訪問が始まっており、昨日で小学校 2 校、中学校 3 校を回らせていただきました。学校もいろんな訪問を受けて、多忙な中ですが授業や学校の様子等を御報告いただきながら、感想等を交えて話をさせていただいているところです。子どもたちが学習に一生懸命に取り組んでいる姿を見させていただき、心強いと感じています。教室から飛び出したり、授業を妨害する子どもも見かけなかったのも、そのような点ではきちっと授業に取り組んでいるということでも良かったと思います。

大原小学校の件では新聞等で掲載もされていますが、何かありましたら報告等いただけたらと思います。本日は大変御苦労様です。よろしくお願いいたします。

3 会議録承認

10月定例会議事録 承認

4 教育長報告

【山本教育長から報告】

前は、10月20日に定例教育委員会を開催し、それ以降教育委員さんにおかれましては、都市連教の県内研修や学校訪問、そして明日からは県外研修ということで大変お世話になりますがよろしくお願いいたします。

10月24日に、中国と河南小中学校で国際交流として学校間で協定を結ばせていただきました。次年度に中国から20人前後の子どもたちが河南小中学校へ来て、交流することになっています。特に米原市としては、河南小中学校区が靈仙三蔵のゆかりの地であることから全国的に発信していきたい思いもあります。大きな企業が交流のかけはしになってくれており、今後はそこを通じてのやりとりが始まります。既に1月に修学旅行の関係で中学校へ訪問したいといった話もあり、調整をしていく予定です。中国側としては全市展開をしてほしいという思いがあるようですが、こちらはホストタウンの関係でニュージーランドとの国際交流という思いも持っていますので、現時点では河南中学校区での交流から始めようと考えています。

11月1日には、本日の議案にもあがっていますが、教育振興基本計画審議会から答申をいただきました。この計画は、議会の承認が必要となりますので12月議会に提案することになります。皆さま方には12月21日開催の総合教育会議の中で意見交流を図ってほしいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

11月は、次年度の予算を教育部でまとめて提出するため、きめ細かく聞き取りを行いながら積み上げていただいたところです。次年度に向けましては、ホストタウンがらみのスポーツ関係やICT機器導入などといった大きなものもあり、また国の補正予算が付いたことから、大原小学校グラウンド、河南小学校グラウンドの改修工事に入る準備も進めるところです。

教育フォーラムを6中学校区でやってくださいとお願いをしており、10月下旬から先週、そして本日も柏原中学校区であります5つの校区で教育フォーラムをやっていただきました。私も参加し、教育フォーラムのねらいや学校支援地域本部事業の立ち上げについての話もして「地域の力を学校に」といったお願いをしてきました。

先ほど大原小学校の事件についてお話が出ましたが、新聞に報道されたように、県内の11歳の子どもの犯行で14歳未満ですので、今後は児童相談所との関係が出てくることです。小学生の年齢での犯行であったことは衝撃的で、いろんな問合せもあります

が、未来ある子どものことですので県内という中で詮索はしないことで進めさせていただいていますので御理解をお願いしたいと思います。大原小学校には金曜日の夜、安心していただくために保護者会を開催し約4分の1の参加をいただき、犯人の特定の目途はできていて、滋賀県内の青少年であるということをお願いいただいても構いませんということをお伝えしました。保護者会では、「学校が休みになった分の授業補充はどうしてくれるのか」といった質問や「全ての子どもたちの心のケアをお願いします」といった内容で、特に厳しい意見はありませんでした。こういったことは、早い解決が何よりで、このようなことをすれば捕まることや犯罪であるということが分かるように新聞報道もされたところです。

教育総務課におきましては、補正予算でグラウンドの改修、そして12月21日に総合教育会議を開催しますので、皆さんの御参加をよろしく申し上げます。

学校教育課につきましては、人事訪問が終わり、学校訪問も進んでいます。いろいろな行事の成功の一方で学校内でいじめ等の問題があがっており、私も校園長会で「きめ細かく十分子どもを見届けていただきたい」といった話もしています。

生涯学習課におきましては、人権教育研究大会の発表や人権を考えるつどい、いきいき健康ウォークも他課と協働でやっています。

歴史文化財保護課につきましては、昨年米原市で全国山城サミットを開催しましたが、今年は10月22、23日に大分県竹田市で開催され、課員2人に参加していただきました。歴史講座や出前講座もやっています。11月23日には「のろし駅伝」、11月24日には流星の準備会をやりたいと思っています。また、はにわ館では11月27日まで霊仙三蔵の企画展をやっていますので、お時間があれば見ていただきたいと思えます。

学校給食課におきましては、10月24日に学校でニュージーランドの給食を作りホストタウン絡みの事業も進めています。野菜の値段が高騰している中、市の給食センターでは低価格の「もやし」を活用した給食作りをし、11月8日には、NHKの取材や放送もしていただきました。また、小学校等で出前講座もやっています。

図書館につきましては、第2回図書館協議会を開催し、今後は県外研修も計画いただいております。また、現在、図書館サービス基本計画のパブリックコメントも実施しておりますので、パブリックコメントを受けて策定していきたいと思っています。以上、全体と各課に関する報告とさせていただきます。

委員：ありがとうございます。今御説明いただいたことで委員の皆さんから何かございませんか。

委員：霊仙三蔵の件で、河南小中学校が中国と交流を持たれるということですが、中国

からアプローチが来たのですか。

事務局 : 中国から新幹線が停まる駅周辺で交通の便の良い日本の学校と交流したいということで米原市に声がかかり、あちらの先生方も米原市を気に入っていただいています。

委員 : 学校だよりを見ていると生徒数が4,500人となっていて、すごい所と交流するのだなと思ひまして。企業さんが絡んでいるのは何かあるのですか。

事務局 : 中国の方々による日本への観光ブームの中で、中国の旅行会社の企画の繋ぎ役をしているのがその企業だということだと思います。

委員 : こちらからも中国へ行く機会はあるのですか。

事務局 : そういった話もありましたが、まだそこまでは考えていません。

委員 : 昔、ミシガンと交流した時も財政的に厳しかった面があったと思いますので。

事務局 : こちらとしては、もし今後あるとしたらニュージーランドの英語圏をと思ひています。

委員 : 図書館でも県外研修に行かれる予定となっていました。指定管理の図書館や民間の図書館など図書館も様々なバリエーションがありますが、どういった図書館をテーマにして見てこられるのですか。

事務局 : 県外研修は今年度初めてです。県内はほぼ寄せていただいたということで岐阜市立図書館と池田の図書館に伺う予定です。ここは、公立ですが資料もたくさんあってこじんまりとした良い図書館なので見せていただきたいと思ひます。

委員 : ぜひ県外研修を生かしていただきたいなと思ひます。

委員 : 先日開催されました子ども美術展を拝見しました。どの作品も自分の思いを上手に表現してあり、工夫されていたと思ひます。特に「ふるさとを描こう」のコーナーで双葉中の作品ですが、地域の特色を簡単な言葉を交えて絵で表現されていたのがすごく良かったと思ひました。この絵が観光課など地域の紹介のパンフレットや何かの表紙に掲載されると良いなと感じました。

図書館でボランティアさんから要望のあったストーリーテリングの実演講習会があったようですが、今後こういう読み聞かせ以外にもストーリーテリングを他に広めるといったことは何か考えておられるのでしょうか。

事務局 : ストーリーテリングは、伊吹のボランティアさんが毎年、学校の秋の読書週間にされています。成果報告会などで取り組んでいただいた中で、覚えるのは大変ですがストーリーテリングを聞きたいという要望があり、今回ボランティア交流会で実演していただきました。今後も要望があれば、取り組んでいきたいと思っています。

委員 : 先月、米原小学校で2年生の親子ミニ運動会が開催され、体育館で子どもと一緒にゲームやパン食い競争などをしたりしました。日頃なかなか親子で一緒に走ったり、他の人がやっていることを応援したりすることが出来ないの、それを見て子どもながらに成長しているなど感じることができました。ゲームが終わってからは、保護者でテーブルに分かれて子どもの良い所、悪い所など何かあれば挙げてくださいといった懇談があり、その中で子どものテレビゲームについて時間を決めているといった話がありました。やはりテレビゲームは悪い印象が結構ありますが、ゲームを通じて漢字を覚えたということもあるので、ゲームだからといって悪いことだけではないという感想も出ていました。

また、宿題の音読では1年生の時とは棒読みが精一杯でしたが、今は感情を込めて読めるようになっていたりとか、忘れ物が多いが次の日の用意はどのようにしているのかなどいろんな相談や話し合いが出来ました。小学校になると親同士の交流が減るため、このような機会に同じ事で悩んでいることに共感でき、皆さんが笑顔で帰ることができました。また、お父さん目線の意見もあって勉強にもなりました。

広報に掲載されていた米原小学校6年生の「心」という人権の作文を読ませていただきました。まず6年生で人権やいじめの意味を理解していることにびっくりしました。最初は意味が分からず、「人権」を辞典で調べて意味を理解し、その上でその子が権利を守っているか疑問に思ってまた調べ、埼玉県的事件で交通事故で娘さんを亡くされたお父さんのことや命の大切さなど、今自分にできること、自分の周りのちょっとしたこと、人を傷つける悪口や陰口、行動など一つ一つを少しでも良いから無くしていきたいと書かれていました。このような考えを持っている子どもがもっと増えたら、いじめもなくなっていくのかなと思いますごく感動した作文を書かれていたので、子どもにも読ませたいと思いました。

委員 : 大原小の報告をしていただき、あのような形で終わりほっとしているところです

が、今回のことで教育委員会や学校現場がそれぞれの立場で何を学んだか、その辺りの集約をしておいてほしいと思います。今後また何か起きた時にどう対応するのか、日頃の子ども一人一人への指導を校園長会などで指導していただきたい。

事務局：危機管理の話も含め、校園長会で話をさせていただきました。

委員：このようなことが度々あるわけではありませんが、よろしくお願ひしたいと思ひます。

教育長の報告の中で次年度の予算のヒアリングの話がありましたが、早くから取り組んでいただき大変御苦勞様です。先ほど図書館の研修の話も出ていましたが、教員の先進地への研修で、この前も学校訪問で双葉中が県内・県外へ全員の先生に研修の機会を与えて事業改善に取り組んだという報告もありました。かつては中学生の海外派遣などもありましたが、次年度に向けて市レベルでの県外研修等の新規事業ができないか一度検討していただけたらと思ひます。スタートは大変でしょうが、予算的にはそんなにかからないと思ひます。教員の資質向上など機会を与えていただけると良いのではないかとと思ひます。研究論文で表彰等はしていますが、優秀な教員を認めていろんな研修の機会を与えてあげてほしいなと私は思ひます。可能かどうかは別にして、そういう視点での検討をしていただけるとと思ひます。

事務局：県教委の方から秋田県または福井県へ1年誰か行ってくれないかという要望も聞いていますので、こちらも行けそうな人材については声をかけようかなと思ひています。また、筑波の研修も毎年1人は3週間派遣したり、企業研修も毎年誰かが3か月行ったりしていますが、實際学校現場の校長の立場で言うと、そういった優秀な先生に研修の場を与えてあげたいのですが3週間なり3か月抜けられるのが困るといった意識も無きにしもあらずです。1週間なら良いということ等があれば校長会でも話しながら、今の校長枠予算の中で上手く工夫すれば出来ないことはないかなと思ひます。

委員：現場の学校では出張されると困るのですが、普段の出張でも同じでどうしても行かなければならない出張もあります。何に重点を置くかという点で、教育振興基本計画も出たことですので、市レベルで何かそういった柱が出ないかどうか検討してほしいと思ひます。学校訪問も始まりましたが、毎年同じ説明をして時間を使っておられるので少しさみしい思ひでいます。前回の定例教育委員会でも話をし、校園長会でも資料は少なくして焦点を絞ってと言われたと思ひますが、双葉中と柏原中以外は、同じスタイルでされていきましたので残念でした。

事務局 : 昨日の教頭会で私の方から言いました。

委員 : あと 10 校残っていますので、ぜひお願いしたいと思います。教育大綱で「ともに学び、ともに育つ」といった点から言うと、今の授業を変えなければいけない。学校も知恵をどんどん出してもらって意見交換できると良いのではないかと思います。柏原小で授業の組み立て方で「めじとまふ」とあり、どこから引っ張ってこられたか分かりませんが、「め」はめあてで、今日はこういうことを勉強しますよといっためあて、「じ」は自分の考えを一人一人が持ち、他の人の考えも持ちましょう、「と」は友達と一緒にそれを交流しましょう、「ま」はまとめましょう、「ふ」は 1 時間の授業を振り返りましょうとして、各クラスの授業でやっておられました。小学校は学級担任として取り組みやすいですが、中学校は教科担任なので自分の教科の自分のやり方にどうしても固執されやすい。山東小学校でも柏原小学校と同じようなことが書いてありましたし、これから行く学校はどうなっているか分かりませんが、少なくとも米原の小学校はこのような米原スタイルでやっていますと定着すると良いと思います。中学校でもああいったものをどんどん出してもらって他の中学校でも良い所を取り入れ、厳しさなどを追求してほしいと思います。これからの学校訪問を期待しています。

5 議案審議

議案第 6 1 号 第 2 期米原市教育振興基本計画の策定について

【教育総務課】

委員 : その都度いろいろ聞かせていただき、意見交換できているところではないかと思えます。最終的にこのような形で答申にまとめていただいたということです。

事務局 : 総合教育会議の中で、できれば I C T 関係で、このようなやり方が効果的で使えるというようなことは実際にできますか。

事務局 : 教育センターの所長にお話をしていますので用意してくれていると思います。

事務局 : 授業もやっていて、ビデオ録りもしていますので提示できるかと思えます。

事務局 : I C T 機器を使った今後の新たな授業展開を教育委員のみなさんや市長にも、このような使い方で効果が上がるといったデモンストレーションをやった方が良いかなと話をしています。

事務局 : 議会の会派別にも教育振興基本計画(案)の説明をさせていただきまして、その中でもこの計画どおりに出来たら良い教育になるので、しっかりやってくださいという意見が出ていました。

委員：この計画は33年度までで、そこでまた見直しとなっています。第2期を見た時に、一つは子どもが減っていく中でこれからの米原市の学校をどう考えていくのか、どこに力を入れていくのか、まずそれが大事。インクルーシブ教育で全員参加の授業をしていかないといけないのですが、実際はいろんな課題を持った子どもさんが増えつつあるのではないかと思います。その辺りを学校教育としてどう割り当ててやっていくのか、今の教員の体制で良いのか。この5年は良いが、次の5年は想像がつかない。小規模学校は先生の日も行き届いて学習形態も変えて授業展開していただいています、学習指導要領も見直しがされるので、それに準じてやっていかなければならないと思います。

事務局：米原市の子どもは、山東・伊吹は減る傾向にあり、近江が横ばい、米原だけが100人ほど増える中で総合して考えると、何でもやろうと思えば授業改善に取り組めるわけですが、アクティブラーニングが求めている主体的な学びや対話的な学びが深い学びになる。これが一番ポイントで、小規模だからこそやりやすいので、もっとやりましょうというのがポイントかなと思っています。

委員：計画(案)ができ、「ともに学び、ともに育つ、学びあいのまち まいばら」と掲げていますので、学校現場の先生方にもこれに添って、「ともに学び、ともに育つ授業をしてください」と繰り返し言わなければならない。「ともに」というのは自分がいて他人がいる。人の考えを聞いて自分も成長していくということで、教育委員会も指導いただけたらと思います。

原案承認

議案第62号 平成27年度教育に関する事務の管理および執行の状況の点検および評価等の報告について 【教育総務課】

原案承認

議案第63号 平成28年度米原市一般会計補正予算(第4号)について 【各課】

原案承認

議案第64号 公の施設における指定管理者の指定について 【生涯学習課】
(米原市伊吹薬草の里文化センター)

委員：審査結果ですが、館長・職員配置計画で5点満点での点数が出ていますが、満点により近づこうとすると職員をもっと増やした方が良いということですか。様々な点数が出ていますが、どのようにして出されているのですか。

事務局：審査員8人がそれぞれ5点満点で採点し、平均点を出しています。その中でも配置計画ですので、団体が事業をやるための職員の人数体系を持っておられますが、

それについての選考委員さんの考え方で、その事業に対して人数のバランスがとれているかという思いの中での点数だと思います。今回は薬草の里文化センターだけの審査でしたが、事業団としての組織の人員体制の説明から始まりましたので、かなりのボリュームがある中での人数体制の心配をされていた部分があったのかなと思います。

委員：現状の職員構成についての評価ということですね。

事務局：そういうことです。

委員：観光で、商工観光課が持っているような指定管理施設もあると思いますが、同じような形でやっていらっしゃるのですか。

事務局：はい。同じような形でマニュアルに添ってやらせていただいています。

原案承認

議案第65号 後援等名義使用承認（後援）について

【教育総務課】

○第43回近畿地区高等学校PTA連合会大会 滋賀大会

原案承認

議案第66号 後援等名義使用承認（後援）について

【保育幼稚園課】

○平成29年度全国国公立幼稚園・こども園PTA全国大会 滋賀大会

原案承認

議案第67号 後援等名義使用承認（後援）について

【教育総務課】

○伊吹の森わくわくスノーキャンプ

原案承認

6 報告事項

(1) 後援等名義使用承認（後援・共催）について

○第17回湖北母親大会

【生涯学習課】

○第5回まいばら入江干拓マラソン

【生涯学習課】

○雪合戦奥伊吹バトル&かまくら祭 2017

【教育総務課】

7 質疑応答

8 その他 11月14日、健康寿命をのばそう！アワード受賞の報告

9 閉会
次回

第12回定例教育委員会 12月16日（金）午後3時30分～

以上をもって第11回定例教育委員会を午後5時05分に終了した。